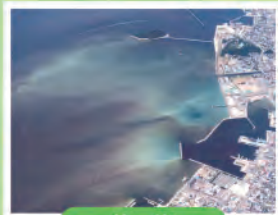


## 赤潮と苦潮



赤潮



苦潮

写真：愛知県水産試験場

プランクトンの異常増殖により、海が変色する現象。プランクトンの種類により色は様々。

沖側の海底に溜まった酸素の少ない海水が、強風等で表層にまで上昇し、海面が青白く変色する現象。

赤潮や苦潮が発生すると、海に住んでいる魚や貝は、プランクトンがエラにつまったり、酸素不足になったりして死んでしまいます。



## 三河湾流域のイベント

5月 潮干狩り



各地

5月 亀崎潮干祭



半田市

7月 豊浜鯛まつり



南知多町

8月 ハワイアンフェスティバル



西尾市

9月 トライアスロン伊良湖大会



田原市

亀崎潮干祭：ユネスコ無形文化遺産

三河湾沿岸各地では、昔から大漁と海上の安全を祈願するお祭りなどが催され、海水浴、潮干狩り、マリンスポーツなどレクリエーションの場として親しまれてきました。



## わたしたちの里海「三河湾」

里海とは、人の暮らしと自然の営みが密接な沿岸海域のことです。



三河湾は、昔から水産、流通をはじめ、文化と交流を支え、豊かな生態系を持ち海の恵みをもたらしてくれる大切な海域「里海」です。私たちはかつての美しく、多くの生物がすみ里海「三河湾」を取り戻し、未来の人々へ引き継がなければなりません。皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



スナメリ

(写真:南知多ビーチランド)



トビハゼ

(写真:名古屋港水族館)

三河湾には、イルカの仲間「スナメリ」が生息しています。

皮膚呼吸ができるため、日中は泥の上で過ごしています。



### 三河湾環境再生シンボルマーク

三河湾の頭文字「M」をもじって三河湾と陸を、また海を愛する人物を組み合わせさせたシンプルなデザインで、三河湾を住民の愛で包み込み、人と自然の調和をイメージさせるマークです。

豊かな海「三河湾」環境再生推進協議会  
URL <http://www.mikawa-wan.jp/>

豊かな海 三河湾

検索



■ 事務局 豊橋市環境部環境保全課内  
〒440-8501 愛知県豊橋市今橋町1番地  
TEL.0532-51-2390 FAX.0532-56-5577



おいしい、たのしい、美しい

# いいね! 三河湾

豊かな海「三河湾」環境再生推進協議会

## はじめに

三河湾は、海水の交換の少ない閉鎖性海域のため汚濁物質が堆積しやすく、赤潮や苦潮が多く発生して、湾内の環境に影響を与えています。こうした中、本協議会は、地域住民にとってかけがえない三河湾の浄化を推進し、美しい三河湾を再び取り戻すことを目的に、「三河湾浄化推進協議会」として平成2年度に設立し、四半世紀にわたり活動を実施してきました。

平成27年7月に設立25周年を迎え、今までの主目的としてきた「三河湾の浄化を推進すること」から「豊かな海“三河湾”の環境再生を推進すること」へ主目的を変更し、協議会名を「豊かな海“三河湾”環境再生推進協議会」と改名しました。

今後は、目指すべき姿を「きれいな海」、「豊かな海」、「親しめる海」として、国・県と連携して、三河湾の環境改善事業の取り組みを推進していくとともに、引き続き、三河湾沿岸・流域の市町村等が協力して、三河湾の環境再生のPRや関係機関への協力要請などの事業を実施していきます。

豊かな海“三河湾”環境再生推進協議会

## 三河湾は汚れやすい海！



写真：三河港湾事務所

### ワンポイントメモ

	伊勢湾	三河湾
面積(km <sup>2</sup> )	1,738	604
平均深度(m)	19.5	9.2

ほくは三河湾に住んでいるスナメリです。三河湾は渥美半島と知多半島に囲まれており湾の入口が狭く、水深も浅いため、海水が入れかわりにくい閉鎖性水域です。そのため、河川から流れ込んだ汚れ（有機物・窒素・リンなど）が溜まりやすく、赤潮や苦潮の発生がみられ、湾内の生態系に大きな影響を与えています。



## 豊かな海を取り戻すために…

わたしたちの生活を便利で豊かなものにしてきている、プラスチック。使い終わったプラスチックごみがきちんと捨てられないせいで、世界中の海が悲鳴をあげています。

環境省では、世界的な海洋プラスチック問題の解決に向けて、個人・自治体・NGO・企業・研究機関など幅広い主体が連携協働して取組を進めることを後押しするため、「プラスチック・スマート -for Sustainable Ocean-」と銘打ったキャンペーンを行っています。

本協議会ではこのキャンペーンに賛同し、各種イベントなどを通じて広く啓発活動を行っていきます。

### ● 世界規模での汚染拡大

プラスチックごみがポイ捨てされるなどにより海に流れ込み、世界中の海を汚染し、生きものたちに悪影響を与えています。



▲プラスチックスマートロゴマーク

### ● 日本の海岸にも漂着

日本の海岸に流れ着くごみの中には、海外からのものだけでなく、国内からでたものも多く含まれています。

### ● 日本は、1人あたりのプラスチック容器包装の廃棄量が、世界第2位

不必要な使い捨てプラスチックの使用の抑制、プラスチックのリサイクル方法や新しい素材の技術開発を進める必要があります。

### 昭和30年代の三河湾のようす



(田原市浦自治会所蔵)

三河湾周辺は、昔、海苔や魚介類などの水産資源に恵まれた、とても豊かな海でした。しかし、今、かつての美しく恵み多き海の姿が失われようとしています。

私達一人ひとりが、日頃の生活の中で川や海を汚さないように心がけ、生物多様性に富み、魚介類が豊富に生息する「豊かな海」を取り戻しましょう。

本協議会では、下記の事項を目指すべき姿とし、三河湾の環境再生に取り組みます。

- ・水質環境基準の達成を目標とした「**きれいな海**」
- ・生物多様性に富み、魚介類が豊富に生息する「**豊かな海**」
- ・住民に親しみを持って利用してもらえる「**親しめる海**」



▲キャンペーン啓発ポスター